

SKYACTIV-D (クリーンディーゼル)って今まで乗っていたガソリン車とどこがちがうの?

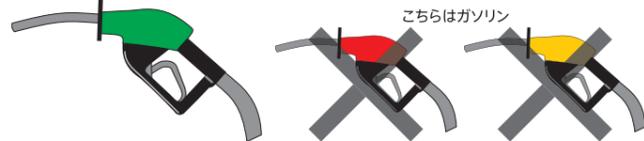
SKYACTIV-Dに関心があるけど、今まで乗っていたのはガソリン車。「何が違うの?初めてだから不安…」そんなことはありませんか?心配はご無用です。取扱いやメンテナンスに特別なことはありません。むしろ、ガソリン車では味わえなかった「動力性能(大トルク)」や「低燃費」といったディーゼル車ならではのメリットに感動いただけると思います。本資料では、そんなディーゼル車の取扱いに関する代表的な疑問点について解説しております。ぜひ、ご一読のうえSKYACTIV-Dをご検討ください。



ちがいその① 燃料は軽油です



セルフ式給油所では、燃料別にノズルの色が法令で定められています。軽油は「みどり色」の給油ノズルと表示ラベルが目印です。



軽油 または ディーゼル ガソリン ハイオク

セルフ式以外の給油所では、ノズルの色は統一されていません。給油所従業員に軽油を注油するよう明確に依頼してください。

Q もしも間違えてガソリンを給油してしまったら?

A 燃料配管内の軽油がなくなった時点でエンジンが停止し、再始動できなくなります。

【エンジン始動前に誤給油に気付いた場合】
エンジンを始動せず、販売店にご相談ください。

【走行中に気付いた場合】
速やかに停車し、エンジンを停止してください。その後、販売店にご相談ください。

冬を楽しもう!

スキーヤー御用達のディーゼル活用術を紹介!

実は、軽油はガソリンと比べ凍結が起こりやすい性質です。そのため、寒冷地の給油所では、冬場、凍結しにくい軽油が販売されています。

Q 寒冷地に行く前には何をすればいい? スキーヤー御用達のディーゼル活用術とは?

A 標準地から寒冷地(スキー場等)に移動される時は、現地に着くまでに燃料の残量が1/2以下になるようにしておき、到着後に現地給油所にて寒冷地用の軽油を給油します。これなら、燃料タンク内の燃料が寒冷地用に入れ替わることで凍結を防ぐことができます。

SKYACTIV-D トピックス

(クリーンディーゼルエンジン)

1.5Lディーゼルエンジンでは、エンジンルーム内部の温度上昇を抑制するために、エンジン・スイッチOFF後、最長9分間クーリング・ファンを作動させることができます。

【エンジン・スイッチOFF後もファン作動音が聞こえることがあります。】



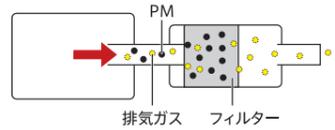
ちがいその② DPFが付いています

クリーンディーゼルの代名詞ともいえるのがDPF(ディーゼルパーティキュレートフィルター)です。

Q DPFって何?

A 排気ガス中に含まれるPM(ススなど黒煙のこ)をフィルターで捕集/除去する装置です。

DPFのおかげで黒煙は大気中にほとんど排出されません。



Q フィルターなら清掃や交換が必要なのでは?

A 不要です。PMが溜まったら自動でお掃除(自動クリーニング)してくれます。

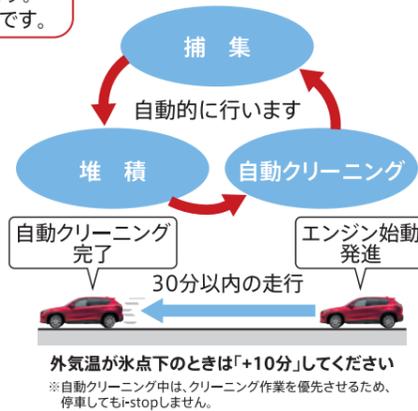
エアコンや掃除機のフィルターと違って手間要らずです。通勤やお買い物など普段どおり使っていれば大丈夫です。

Q いつ自動クリーニングしているの?

A DPF内にPMが一定量溜まったら、エンジン暖気後の通常走行中に排気ガスの熱を利用して、自動クリーニング*しています。

渋滞や信号で頻りに停車する場合など、運転状況によってクリーニングにかかる時間がかわります。

走行中に自動でPMを除去しているとき、エンジン音や排気ガスの臭い変化することがあります。また、i-DMの瞬間燃費が一時的に下がって表示されることがあります。



Q 自動クリーニングできなかったらどうなる?

A マルチインフォメーションディスプレイ(MID)やメーター内のDPF警告灯でPMが溜まったことをお知らせしてくれます。

右図[A]のように表示されたら、表示が消えるまで走行してください。表示が消えたあと、さらに15~20分走行するとクリーニングが完了します。それでも自動クリーニングできない場合は右図[B]のように表示されますので、この場合は販売店で点検を受けてください。

[A]故障ではありません



[B]PMが溜まりすぎた場合やDPFに故障が発生した場合



「DPF内にPMが堆積しています」と表示された後、表示に至るまでと同じような走り方で、さらに60~80km走行したり、アイドリングを長時間(6~8時間)継続すると、自動クリーニングできずに、PMが溜まり続け、左図のように表示されます。

Q クリーニングが実行できないケースやPMがたまりやすいケースはある?

A ①10分以下の短時間走行の繰り返しや、エンジンが暖気出来ないような走行を繰り返したとき
②長時間のアイドリング状態

「DPF内にPMが堆積しています」が表示されるまでの目安
「①の場合」…PM未堆積の状態から250~450km走行したとき
「②の場合」…PM未堆積の状態から約30時間アイドリングしたとき

ちがいその③ 特にメンテナンスが重要です。

エンジン性能を維持し、より長くご使用いただくには、特にメンテナンスが重要です。



1.エンジンオイル

Q エンジンオイルはどれを使えばいいの?

A クリーンディーゼル車には、DPFを保護するために成分調整された専用のオイルが使用されており、SKYACTIV-Dは下記の指定エンジンオイルをご使用下さい。

	1.5L	2.2L
ディーゼルエクストラ SKYACTIV-D(0W-20)	○	—
ディーゼルエクストラ SKYACTIV-D(0W-30)	○	○
ディーゼルエクストラ DL-1(5W-30)	○	○

※2014年7月現在の情報です。詳しくは店頭スタッフにご確認ください。

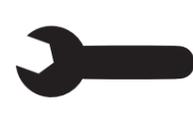


《便利な機能があります!》



オイル点検/交換時期です

メンテナンスモニターが装着されている車両には、あらかじめ設定した交換時期(距離)になると、表示により交換時期をお知らせしてくれます。



※警告ランプイメージ

1.5Lディーゼルエンジン搭載車は、1年または1万kmごとに点灯しオイル交換時期をお知らせします。オイルの劣化状況をモニターして、オイルが劣化した場合には、これより早く交換お知らせランプが点灯する場合があります。

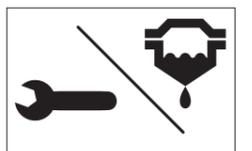
2.水抜きメンテナンス

Q どの水を抜くの?

A 燃料(軽油)に混入した水分を抜きます。ディーゼルエンジンは軽油を高圧にして噴射する非常に特殊な装置が搭載されているため、燃料に混入した異物や水分を取り除いておかなければ、エンジンが止まってしまうなどの故障の原因になります。

Q どうすればいいの?

A 1.5Lディーゼルエンジンは、20,000km走行毎に警告ランプが点滅しますので、マツダの販売店で水抜きを行ってください。その他の車種も警告ランプが点灯した際に販売店にお立ち寄りください。※燃料フィルターの交換は60,000km毎の交換が必要です。



※警告ランプイメージ

3.燃料噴射量補正

Q 燃料噴射量補正って何?

A 燃料噴射量は、お車をお使い頂いている間に少しずつズレが生じます。そこで、SKYACTIV-Dの高出力、低振動、低燃費をいつまでも維持するためには、燃料の噴射量やタイミングを定期的に補正する必要があります。

Q どうすればいいの?

A 1年毎にマツダ販売店にお立ち寄りください。(法定12か月点検の実施をお勧めします)マツダ車専用のコンピュータ診断機を使用して調整致します。

《最後に》オイル交換や水抜きメンテナンス、燃料噴射量補正など、マツダ車のことを熟知しているマツダの販売店にお任せください。

マツダ車の専門家であるマツダ販売店に交換をお申し付け頂ければ、交換したエンジンオイルからエンジンの調子を診断したり、お客様にあわせた交換時期(距離)のご提案もできます。また、水抜きや燃料噴射タイミングなどの整備もマツダ販売店の定期点検を受けて頂ければ、確実に実施致します。マツダ販売店の定期点検、車検をご利用ください。